

ご報告と御礼

—第55回国際外科学会日本部会でのご協力に感謝して—

平成21年秋

国立病院機構災害医療センター 外科 原口義座

先生におかれましては、秋冷、紅葉の候ですが、ますますご活躍のことと思います。

去る7月3日・4日には、おかげさまで第55回国際外科学会日本部会を開催させていただくことができました。大変遅くなりましたが、御礼と簡単ですが、ご報告をさせていただきます。

本会の役員の方、ご司会・ご座長をしていただいた先生方、ご発表いただいた先生方、会員の先生方にまず御礼申し上げます。さらに、学会の際には、市民公開講座を兼ね、「新型インフルエンザの恐怖と外科医の役割」のタイトルで、特別演題として模擬訓練をさせていただきました。ご協力をいただいた皆様方、全ての方にも厚く御礼申し上げます。

学会の運営につきましては、当方が全く不慣れなことに加え、少ないメンバーで手作りでさせていただいたこともあり、大変ご迷惑をおかけしました。不行き届きの点が多々ございましたが、なにとぞ、ご寛容のほどお願い申し上げます。

開催時に、僭越ですが、会長挨拶の一環として、これまでの当方の活動に関して拙い発表もさせていただきます。今回、その際の内容にいくつかの追加させていただく形で、発表報告を印刷したものを同封させていただきました。

また、現在力を入れております、「災害医療」に関する私たちのオリジナルの2010年のカレンダー(通算第5版)も同封させていただきました。

現在、厚生労働省 新興・再興感染症研究「新型インフルエンザ大流行に備え訓練に関する研究」班の主任研究者としても活動させていただいており、しかも、現在も真っ最中のパンデミックでもあることもあり、当方も若干関与させていただいている東京商工会議の手引き(中小企業用ということで、だいぶ分野が異なりますが)等も同封させていただきました。

また事後報告となりますが、上記班研究の実活動として10月12日に「緊急 新型インフルエンザ講演会 ～医院・診療所における対応のてびき～」と題してつくば国際会議場で講演会を開催させていただきました。ご参加いただいた先生方もおられることと存じます。ご興味をお持ちでしたらインターネット(下記アドレス)をご参照ください。

ここでの、「対応のてびき」は、医院・診療所を主な対象と考えており、古河保健所長の川田諭一先生が中心となって作成しておりますが、ほぼ完成間じかとなっております。完成時は、ホームページでもご覧いただけるようにしたいと考えております。

これらのことが重なったこともあり、ご報告が遅くなりましたことを、繰り返しお詫びいたします。

お送りしたものをぜひごらんいただき、ご意見をいただければ大変幸いです。

これからも、ご健勝に、特に新型インフルエンザにも、配慮しながらの先生のご活躍を祈念し、そして旧に倍するご指導をお待ちしております。

なお、お気づきの点がございました際の連絡先等は、以下にお願いいたします。

Email: akisatoh@titan.ocn.ne.jp or akisatoh@msf.biglobe.ne.jp

TEL: 042-548-1287 or 042-526-5511 (ex. 3174, 2303)

FAX: 042-526-5540

URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~akisatohito/>

第55回総会会長 原口義座

55th Meeting

国際外科学会日本部会

